

# 震災がれきの海岸堤防への活用

災害復旧で築造する海岸堤防のうち、仙台市内、名取市内及び山元町内で整備する堤防には、必要な品質等が確認されたことから、各自治体で発生した「震災がれき(津波堆積土砂、震災コンクリート殻)」を活用。

仙台市 環境局  
名取市 生活経済部  
山元町 町民生活課

◆課題

- 震災がれきの処理と有効利用の促進  
(最終処分場の延命化)

協働  
・連携

国土交通省  
仙台河川国道事務所

◆課題

- 築堤材料安定的な入手
- 土砂運搬車両の通行量の軽減

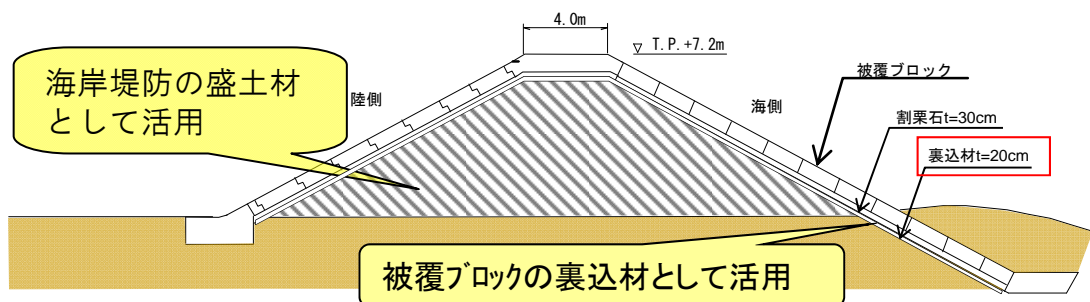
《海岸堤防復旧工事に活用する震災がれき⇒ 約30万m<sup>3</sup>》

- 津波堆積土砂 活用量：約20.5万m<sup>3</sup>
- 震災コンクリート殻 活用量：約8.8万m<sup>3</sup>

※海岸堤防で必要となる盛土材の総量(体積)のうち、  
仙台市内ではおよそ7割、名取市内ではおよそ3割、  
山元町内では1割弱で震災がれきを活用。

※震災がれきは、環境省通知に基づき安全性が確認されたものを活用。

## 【堤防基本構造】



### ●津波堆積土砂



### ●コンクリート殻



# 震災がれきの海岸堤防活用とその効果

## 震災がれき活用による効果

### ○市街地を通過するダンプ台数の軽減（のべ約5万台の軽減）

1台あたり5～6m<sup>3</sup>程度を海岸堤防の盛土材料等として運搬しているため、のべ台数で約4.7万～5.7万台程度のダンプ交通量の軽減に寄与。これにより、以下の効果が発現した。

- ・**交通渋滞の緩和、交通事故発生の抑制**（住環境の保全、安全性の向上）
- ※本事業でのダンプ使用台数の抑制が、他事業でのダンプ不足緩和（事業促進）に寄与。

### ○震災がれきの処理の軽減（最終処分場の負荷軽減）

市の処分場では、処理能力以上のがれき処理対応が求められているため、最終処分場の負荷軽減に寄与することで、復旧・復興の促進に寄与。

### ○海岸堤防の盛土材料の安定供給

不足する工事資材の安定供給が図られ、計画的かつ効率的な施工が可能となった。

土砂運搬車両 運行状況



被災地道路の交通混雑状況

